

**2020 年度**  
**事業報告書並びに決算報告書**

自 2020 年 4 月 1 日  
至 2021 年 3 月 31 日

公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団

# 2020年度 事業報告

2020年4月1日～2021年3月31日

## 1. 視聴覚障害者の日常生活の支援及び生活支援の援助者養成

### (1) 手話放送番組の制作支援

日本テレビのニュース番組「NNNニュースサンデー」の手話放送に出演する手話通訳士の派遣事業。当該番組は、毎週日曜午前6時15分～6時30分、全国ネットで放送している。手話通訳を、画面右下にワイプで挿入している。

2020年度も東京都聴覚障害者連盟から推薦を受けた4名の手話通訳士の皆さんが、交互に年間52回の手話放送に携わり、聴覚障害者の方々への情報サービスを行ってきた。

### (2) 点字カレンダーの製作及び無料配布

点字カレンダーは、1976年より制作して全国に無料配布を開始して以来、45年間続けている基幹事業。

月ごとに美しい写真を付けて、晴眼者と視覚障害者とのコミュニケーションを深める願いが込められている。2021年版は、「音のある風景」をテーマに約2万部を製作。日本点字図書館の協力で、全国視覚障害者学校、視覚障害者養護施設、視覚障害者福祉関係団体、在宅視覚障害者に無料配布した。また、日本テレビネットワーク各社の協力を得て、全国各地で別途2万部余りの無料配布も行った。

(点字製作：日本点字図書館 写真撮影：岩本圭介氏 デザイン：神馬俊二氏)

### (3) 手話スクールの開講と手話の普及事業

手話スクールは、1975年に開講して以来、現在まで毎年行っている基幹事業。

手話ができる人を一人でも多く増やし、聴覚障害者への生活支援に貢献してもらうことを目的としている。入門編・基礎編の1, 2年生、上級編である3年生の授業の体制である。

2020年度は、新型コロナの影響により4月スタートを断念し、7月スタートとなった。そしてコロナ感染防止を徹底する体制で臨んだ。

まず、密にならないように、1年生は、会議室を増やして、A, Bの2クラス体制とした。2年生、3年生も、密にならないように、毎回座席指定とした。また、生徒全員にフェイスシールドを配布し、検温、消毒、換気に努めた。首都圏のほとんどの手話講習会がコロナの影響で休止する中、数少ない貴重な手話の講習会となった。

しかし、1月からの緊急事態宣言を受けて、すべての講座を年度内の3月までに終えることはできず、1月から3月分の講座は休講し、4月から6月に延期となった。

土曜日（1年生 13:00～14:40、2年生 14:50～16:30、3年生 14:00～16:00）に開講している。

会場： 弘済会館 （東京都千代田区 麴町）

講師： 1年生A, 2年生 田原 直幸  
1年生B 飛山 将紀（とびやま まさのり）  
3年生 目黒 和子

助手： 1年生A, 2年生 黒澤るみ子、村山佳子  
1年生B 河野光子、安田育子  
3年生 堀 浩司

生徒数： 1年生 40名、2年生 17名、3年生 26名  
(2021年3月31日現在)

## **24 時間テレビへの協力は休止**

毎年、手話スクールの手話コーラス部員6名が、「24時間テレビ」に出演していたが、コロナのため休止。聴覚障害者の来場に対応するための手話通訳ボランティアの活動も休止となった。

### **(4) 視覚障害者に向けて ～ラジオ番組からの情報発信**

視覚障害者に役立つ情報や、晴眼者にとっても有益な情報を発信する、ラジオ日本のラジオ番組「小鳩の愛」を2014年4月より放送開始。丸7年が経過した。

2021年度は8年目を迎える。毎週土曜日の朝8時15分から30分まで放送。ラジオ日本と富山県をカバーする北日本放送（KNBラジオ）でも放送されている。

しかし、毎年行っていた番組連動企画のイベントは、新型コロナウイルス感染防止のために、行うことができなかった。

## **2. 視聴覚障害者を支援する団体への助成**

### **(1) 聴覚障害児の学校への助成 （コロナのため休止）**

助成先：学校法人日本聾話学校

毎年、開催されていた日本聾話学校の臨時夏季学校は、コロナのため冬季学校へ延期して臨んだが、冬季学校も緊急事態宣言のため やむなく20年度の臨時学校自体、休止となった。

（臨時学校は、耳の不自由な児童生徒にとって、親元から離れて過ごす団体生活は心身の鍛練と秩序ある団体生活の貴重な体験であり、一般社会へ順応する訓練になっていた。）

## (2) 視覚障害者福祉DVDの製作及び生活支援活動への助成

助成先：社会福祉法人日本盲人職能開発センター

1) 視覚障害者福祉ボランティア指導用DVD制作への助成。

20年度のテーマは、「視覚障害者の就労～日本視覚障害者職能開発センターの40年の活動～」

2) 下記 福祉講演会の出張旅費への助成（2020年4月1日～2021年3月31日）

NO	開催日	場所・内容	対象者	内容	備考
1	2020 8/29 ～ 9/1	(大阪市) 視覚障害者・就労支援者支援 者講習会 日本ライトハウス	職員・障害者・ ボランティア	福祉講演 映画	ガイトブック 配布
2	2020 9/11 ～12	(大阪市) 職業能力開発施設連絡会 大阪市職業リハビリテーション センター	職員・障害者・	〃	〃
3	2020 11/12 ～13	(金沢市) 視覚障害者の働く、を考える 座談会 金沢中央公民館三館	職員・障害者・ ボランティア・ 学生	〃	〃
4	2020 11/23 ～25	(名古屋市) 視覚支援・就労支援者講習会 ウインク愛知(愛知県産業労働 センター)	職員・障害者 ボランティア	〃	〃

3) 福祉映画利用相談及び貸出諸費への助成

4) 貸出ビデオ更新費への助成

### **(3) 「盲人との接し方」ガイドブックの製作への助成**

助成先：社会福祉法人日本盲人職能開発センター

小冊子「盲人に接する人々のために」は視覚障害者との接し方をイラストを交えて分かりやすく解説したもの。1万部を製作し、視覚障害者の福祉講演会や映画会会場のほか、都道府県・市町村役場の福祉課にも配布した。

### **(4) 点字技能検定事業(検定試験)への助成（コロナのため休止）**

助成先：日本盲人社会福祉施設協議会

2020年度の第21回点字技能検定試験は、コロナの感染防止のため、やむなく休止となった。

（この検定試験は、日本盲人社会福祉施設協議会の主催する点字技能検定事業である。全国の点字に関する卓越した知識、技術を持つ方に対し、点字技能検定を受ける機会を提供し、点字技能師の資格を付与している。

点字関係職種の専門性と社会的認知度を高め、点字の普及と質の向上を図り、視覚障害者に的確な情報を提供することを目的としている。）

### **(5) 視覚障害者ケア専門技術認定講習会への助成（コロナのため休止）**

助成先：全国盲老人福祉施設連絡協議会

毎年、都内で開催していた視覚障害者ケア専門技術認定講習会は、コロナ感染防止のため、やむなく休止となった。

（この講習会は、全国の盲養護老人ホーム・聴覚障害老人ホーム及び特別盲養護老人ホームにおける視覚・聴覚障害者へケアをする専門職としての知識と専門的サービスの技術を取得し、施設におけるサービスの向上を目的として毎年開催しているものである。）

## **(6) 角膜移植・再生医療への助成 (コロナのため休止)**

助成先； 移植・再生医療を支える会

視覚障害者治療に貢献することを目的に、複数の大学病院の角膜移植・再生医療・I P S細胞研究およびアイバンクの促進のためのチャリティイベント「PARTY for VISION」へ助成してきたが、コロナ感染防止のため、やむなく休止となった。

## **(7) その他の助成**

- ・聾者の団体が主催する野球大会への助成 (コロナのため休止)

助成先：全日本ろう社会人軟式野球連盟)

- ・チャリティ映画会開催に助成 (映画のチケット購入)

助成先：日本点字図書館、日本聾話学校

- ・本間一夫文化賞に助成 (記念品代)

助成先：日本点字図書館

- ・東京都盲人福祉大会に助成

助成先：東京都盲人福祉協会

- ・失明原因の解明と失明予防・知識の普及と啓発を図る活動への助成

助成先：日本失明予防協会

- ・東京都社会福祉協議会関係会費

助成先：社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

- ・視覚障害者のテニス大会への助成 (コロナのため休止)

助成先；日本ブラインドテニス連盟

### 3. 文化及び芸術に関する各種の公演、講座等

#### (1) グランプリ・コンサート2020 は、休止 (公財)日本室内楽振興財団 と共催

5月開催予定であった、第10回大阪国際室内楽コンクール・フェスタは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、海外からのアーティストを招いてのコンクールそのものができなくなり中止となった。そのため、コンクールで優勝したアーティストを招聘してのグランプリコンサートも、開催中止となった。

#### (2) 第13回 想いで<sup>おもいで</sup>の詩 コンサート 北海道岩見沢での公演 主催

世代やジャンルを超えて将来も残していきたい、歌い継いでいきたい日本の名曲を選曲。音楽の楽しさ、素晴らしさ伝えていくコンサート。

今年も、日本の最高峰のポップスボーカルグループ「サーカス」の中心メンバーであった、夫婦デュオの「2VOICE」(叶央介、原順子) 出演によるコンサートを北海道岩見沢市にて行った。また、1年間ほとんど活動できなかった地元の岩見沢少年少女合唱団が今回共演。貴重な経験となった。

「音楽の黄金時代」と言われる、1960年代から70年代のポップスの名曲を中心に、海外の名曲も散りばめて選曲、構成。

会場は、北海道岩見沢市 まなみーる岩見沢市民会館大ホール。

ライブコンサートがほとんど行われなかった2020年だったが、感染防止を徹底させて実現。岩見沢市民のみなさんが、2時間あまり、素晴らしい名曲の数々の貴重なライブコンサートを心ゆくまで堪能した。

開催日：2020年11月8日(日)

会場； 北海道 岩見沢市 まなみーる岩見沢 大ホール。

入場者； 約300名。(感染防止のため、定員の半分以下で開催。)



### **想いで詩コンサート 特別企画は、休止、延期**

想いで詩コンサートのスピノフ特別企画として、取り組んできた「大木トオル セラピードッグ講演会&チャリティライブ」が 緊急事態宣言のため直前になって、やむなく休止し、延期となった。(1月9日予定していた)

同じく 想いで詩コンサートのスピノフ特別企画で、東京青梅市にある視覚障害者養護老人ホーム「聖明園」曙荘における福祉コンサートも休止し、秋以降へ延期となった。(3月14日予定していた)

### **(3) スクールコンサート 静岡県 磐田市立 豊田中学校にて開催**

3年前にスタートしたコンサート。

このコンサートは、次代を担う小・中学校の子供たちに、クラシックだけでなく、映画音楽、ジャズ、洋楽ポップスなどジャンルを超えて、様々な音楽の素晴らしさを伝え、楽しんでもらうコンサート。プロのライブの音楽に触れる機会を創り、豊かな感受性を育んでもらうことが目的。

また、プロの演奏を聴くだけでなく、地元中学校の吹奏楽部や少年少女合唱団が、プロの演奏家と共演する「参加型コンサート」も、このスクールコンサートの大きな特徴である。

2020年度は、10月19日(月)、静岡県磐田市立豊田中学校体育館にて開催。コロナ禍の中、クラブ活動が十分にできなかったが、感染防止に努め、豊田中学校吹奏楽部2年生11名の皆さんが、プロの演奏家と共演し、とても貴重な音楽体験となった。また、豊田中学校2年生約160名が、プロのライブの音楽を楽しんだ。

このコンサートは、全国の小・中学校、及び教育委員会、市民会館と協力して実施している。

開催日：2020年10月19日(月)

会場：静岡県磐田市立豊田中学校体育館にて開催。

入場者：約170名。(静岡県磐田市立豊田中学校の2年生の生徒、先生が参加)。

一方、これ以外の開催予定であった、7月の岡山県津山市加茂町、11月の東京都文京区の筑波大学附属視覚特別支援学校、2月の岩手県釜石市、3月の福島県福島市のスクールコンサートは、残念ながらコロナの影響で、すべて中止や延期となった。

#### **(4) 聲明公演 は、休止。**

日本音楽の源流といわれる「聲明」を日本の伝統文化と捉え、次代に継承することを目的としたコンサートも、1月16日予定していたが、直前に出された緊急事態宣言のため、やむなく休止となった。

## **4. 文化及び芸術に関する事業、活動への助成**

### **(1) 「第72回 高円宮杯全日本中学校英語弁論大会」 は、中止**

助成先：日本学生協会基金

1949年という戦後のまだ混乱期に、今後の日本の将来を見据え、将来の日本を担う国際性豊かな青少年を育てるためには英語教育が必要である、という理念のもと立ち上げられた全国の中学生の英語弁論大会。

2020年度は、年度途中まで準備を進めていたが、やむなくコロナの影響で中止となった。